



こ だ い ら

市議会だより



平成28年(2016年)7月31日 NO.228 発行/小平市議会 編集/広聴広報特別委員会
〒187-8701 東京都小平市小川町二丁目1333番地 TEL 042(346)9566
小平市議会ホームページ <http://www.city.kodaira.tokyo.jp/gikai/>
電子メール gikai@city.kodaira.lg.jp



東部公園プール



小平グリーンロード灯りまつり



小平ふるさと村

夏真っ盛り！小平の夏

平成28年6月定例会は、6月7日から6月30日まで24日間の会期で開催されました。

この定例会では、平成28年度一般会計補正予算(第1号)など11件の市長提出議案を可決・承認・同意しました。なお、議員提出議案4件は閉会中の継続審査となりました。

また、6月8日から3日間にわたり、26人の議員から70件の一般質問がありました。

平成28年度

一般会計補正予算(第1号)など

11議案を可決

—多子世帯、ひとり親世帯等への保育料負担軽減を拡大—

6月定例会

小平市非核都市宣言

世界の恒久平和は、人類共通の願いである。しかし、核軍備拡大競争及び通常兵器の軍備拡大競争は一段と激化し、世界各地で武力紛争が絶え間なく続き核戦争の脅威が迫っている。

我が国は、世界唯一の核被爆国であることにかんがみ、小平市議会は、すべての国の核兵器に反対し非核三原則を堅持し、人類永遠の平和のため努力することを決意し非核都市を宣言する。

昭和58年3月3日
小平市議会

※この宣言は、昭和58年3月定例会において議員から提案され全会一致で可決されたものです。

議会を傍聴
しませんか？

今後の

市議会の日程(予定)

開会時刻 原則として午前9時

場 所 市役所7階

傍聴される方は、
議会事務局へ
お越しください。

8月22日(月) 総務委員会(※1)
請願・陳情締め切り(午前中)(※2)
8月23日(火) 生活文教委員会
8月24日(水) 厚生委員会(※1)
8月25日(木) 環境建設委員会
9月1日(木) 議会運営委員会(※3)
9月6日(火) 9月定例会本会議(初日)
9月7日(水) 9月定例会本会議(一般質問)
9月8日(木) 9月定例会本会議(一般質問)
9月9日(金) 9月定例会本会議(一般質問)
9月12日(月) 総務委員会

9月13日(火) 生活文教委員会
9月14日(水) 厚生委員会
9月15日(木) 環境建設委員会
9月16日(金) 広聴広報特別委員会
請願・陳情締め切り(午前中)(※4)
9月20日(火) にぎわいまちづくり調査特別委員会(※1)
9月21日(水) 公共施設マネジメント調査特別委員会
9月27日(火) 議会運営委員会(※3)
9月30日(金) 9月定例会本会議(最終日)
広聴広報特別委員会(※3)
10月11日(火) 決算特別委員会(一般会計)

10月12日(水) 決算特別委員会(一般会計)
10月13日(木) 決算特別委員会(一般会計)
10月14日(金) 決算特別委員会(特別会計)
10月18日(火) 広聴広報特別委員会

(※1) 当日は、現地視察を予定しています。委員会の再開時間等につきましては、議会事務局にお問い合わせください。
(※2) 9月定例会初日日程の受け付け期限です。
(※3) 開始時間については、議会事務局にお問い合わせください。
(※4) 9月定例会最終日日程の受け付け期限です。

日程、開会時刻等は変更や追加になる場合もありますので、事前に議会事務局までお問い合わせください。

市議会だよりの配布に関するお問い合わせは、小平市シルバー人材センター 042(344)2120 にご連絡ください。

可決、同意または承認した
主な議案

専決処分(国民健康保険条例の一部を改正する条例)

条例改正の根拠となる地方税法施行令が平成28年3月31日付で公布されたことに伴い、平成28年度の課税事務を進める必要から、同日付で市長専決により条例改正を行いました。

改正の内容は、国民健康保険税の低所得世帯に対する被保険者均等割の軽減措置のうち、5割軽減及び2割軽減の対象世帯に係る所得判定基準を改正するものです。被保険者数に乗ずる金額を、5割軽減については26万円から26万5千円に、また、2割軽減については47万円から48万円にそれぞれ引き上げます。

平成28年度一般会計補正予算(第1号)

本補正予算は、本年度の当初予算編成後に新たに実施することとなった事業に関する経費等を計上するものです。

歳出の内容は、総務費では、自主防災組織に供与する防災用備品を購入します。

民生費では、待機児童の解消に向け、来年度に新規開設する民間保育園2園の建築補助を行います。

消防費では、消防団の装備として防災用備品を購入します。

教育費では、中央公民館について耐震補強工事に向けた設計委託料を計上します。

補正額としては歳入歳出をそ

れぞれ1億7千7百1万9千円増額し、総額を6百22億1千7百1万9千円とします。財源構成としては、国及び都支出金等を事業の実施に伴い増額補正するとともに、地方債を補正するほか、財政調整基金からの繰入金で対応します。

国民健康保険条例の一部を改正する条例

平成28年3月31日に公布された地方税法施行令の一部改正に伴い、国民健康保険税に係る医療保険分及び後期高齢者支援金の課税限度額の見直しを行うため改正するものです。

改正の内容は、国民健康保険税の課税限度額のうち、医療保険分を現行の52万円から54万円に、後期高齢者支援金を現行の17万円から19万円にそれぞれ改めることにより、課税限度額の合計額を現行の85万円から89万円に引き上げるものです。

施行期日は平成29年4月1日です。

子ども子育て支援法施行令の一部を改正する政令等の施行に伴う関係条例の整理等に関する条例

子ども・子育て支援法施行令の改正に伴い、関連する条例の改正を一括して行うものです。

改正の主な内容は、小平市立保育園等の利用者負担額に関する条例について、多子世帯に係る特例措置の拡充として、保護者の市町村民税所得割額の合計が5万7千7百円未満の場合に第2子を半額、第3子以降を無償とする軽減措置の適用に当たり、第何子であるかを決定する際に算定の対象とする子どもの

年齢制限を撤廃します。また、小平市立保育園等の利用者負担額の要保護世帯等に係る特例措置の拡充として、保護者の市町村民税所得割額の合計が7万7千1百1円未満の場合の利用者負担額を半額とし、第2子以降を無償とするほか、文言等の整理を行います。あわせて、この条例を読みかえて使用している小平市特定保育所の保育料に関する条例及び小平市保育措置費徴収条例について、所要の改正を行うものです。

平成28年度一般会計補正予算(第2号)

本補正予算は、本年7月31日に執行される東京都知事選挙に要する経費を計上するものです。補正額としては歳入歳出をそれぞれ6千3百80万9千円増額し、総額を6百22億8千82万8千円とします。

地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例

都市計画法に基づき、鈴木町一丁目地区地区計画が平成26年12月15日に、鈴木町一丁目地区地区計画及び小平大和線沿線地区地区計画が平成28年3月25日に都市計画決定されたことに伴い、区域内の建築物の敷地面積、壁面の位置、高さの制限等について、建築基準法第68条の2の規定に基づき市の条例として定め、建築基準法上の制限

監査委員の選任同意

退職に伴う監査委員の選任について同意を求め、議案が提出され、次のとおり選任することに同意しました。

岡村 健司氏

とするため改正するものです。本条例の改正により、新たに決定された地区計画の区域の制限内容が建築確認の対象となるため、建築基準法に基づく是正措置を含め、より確実な地区計画内のまちづくりの実現を図ることが可能となるものです。施行期日は公布の日です。

開発事業における手続及び基準等に関する条例

現行の条例の施行からおおむね10年が経過し、その間の社会情勢の変化や市民ニーズ等に対応するため改正するものです。改正の主な内容は、開発事業の対象範囲を広げるとともに、事業主が事業計画の説明をより丁寧に行うこと、また、現行条例の運用における手続や事業主との協議内容を明確化及び明文化するものです。

議案人事

多摩六都科学館組合議会
日向美砂子議員
三鷹・立川間立体化複々線促進協議会
磯山 亮議員
多摩地域都市モノレール等建設促進協議会
磯山 亮議員

政和：政和会(8)
共産：日本共産党小平市議団(4)
公明：市議会公明党(6)
生ネ：生活者ネットワーク(3)
フォ：フォーラム小平(6)
緑：緑の党こだいら(1…無党派)

6月定例会

議案に対する各議員の賛否

(伊藤央議員が平成28年6月21日に政和会を退会したため、会派異動後に議決された議案は、表を分けて表示しています。)

Table with columns for district, proposal number, item name, and voting results for various parties (Seiwa, Komei, Foa, Seisan, Sene, Rik, Msa).

※議長は表決に加わりません。

Table with columns for district, proposal number, item name, and voting results for various parties (Seiwa, Komei, Foa, Seisan, Sene, Rik, Msa).

※議長は表決に加わりません。

議員の紹介

五十音順に左から右へ記載してあります。
 <委員会名の略称> (◎=委員長、○=副委員長)
 総務=総務委員会、生文=生活文教委員会、厚生=厚生委員会、
 環建=環境建設委員会
 広聴広報=広聴広報特別委員会、にぎわい=にぎわいまちづくり調査
 特別委員会、公共施設=公共施設マネジメント調査特別委員会、
 都市マス=小平市都市計画マスタープラン全体構想特別委員会
 議運=議会運営委員会

写真
 氏名(年齢は発行日現在)
 当選回数 会派名
 常任委員会・特別委員会等
 住所(事)は事務所
 電話番号

 浅倉 成樹 (64) ◎ 市議会公明党 総務・議運(◎) 学園東町1-3-11-402 ☎042-341-7850	 虻川 浩 (55) ◎ 市議会公明党 厚生(◎)・広聴広報(○)・にぎわい 美園町2-3-15-103 ☎042-348-0483	 石毛 航太郎 (35) ◎ フォーラム小平 総務・にぎわい(○)・都市マス 花小金井1-29-9 ☎042-452-9091	 磯山 亮 (36) ◎ 政和会 厚生・広聴広報・議運(○) 花小金井南町1-18-39-305 ☎042-452-7631	 伊藤 央 (46) ◎ ムサシ 生文・公共施設 (事)学園東町1-15-5-1F ☎042-307-9054	 小野 高一 (68) ◎ 政和会 総務(◎)・にぎわい 小川町2-1879-4 ☎042-343-8412	 川里 春治 (69) ◎ 政和会 総務・にぎわい(○)・都市マス 花小金井3-11-8 ☎042-461-8292
 吉瀬 恵美子 (54) ◎ 日本共産党小平市議団 厚生・にぎわい・都市マス 鈴木町2-229 ☎042-478-1133	 木村 まゆみ (64) ◎ 日本共産党小平市議団 環建(◎)・公共施設 津田町1-2-11 ☎042-344-4928	 小林 洋子 (43) ◎ フォーラム小平 生文(◎)・広聴広報・議運 鈴木町1-248 ☎042-341-5749	 さとう 悦子 (51) ◎ 生活者ネットワーク 生文・にぎわい (事)学園西町2-15-2 CB-橋学園 ☎(事)042-342-4494	 佐藤 徹 (57) ◎ 市議会公明党 厚生・にぎわい・都市マス 小川町1-800-36 ☎042-332-5883	 佐藤 充 (64) ◎ 日本共産党小平市議団 生文(○)・にぎわい・都市マス(○) 小川町2-1362-11 ☎042-343-0831	 佐野 郁夫 (60) ◎ 政和会 生文・都市マス(◎)・議運 小川西町2-26-21 ☎042-332-6300
 滝口 幸一 (43) ◎ フォーラム小平 副議長・環建(○)・公共施設(○) 学園西町3-1-22 ☎042-347-1060	 竹井 ようこ (50) ◎ フォーラム小平 総務・広聴広報・にぎわい (事)美園町1-1-15 ☎(事)042-207-1232	 津本 裕子 (55) ◎ 市議会公明党 総務(○)・公共施設・都市マス 花小金井南町1-17-11-110 ☎042-464-1126	 中江 みわ (36) ◎ フォーラム小平 厚生・公共施設・都市マス 学園東町1-10-16-101 ☎042-315-7475	 永田 政弘 (70) ◎ 政和会 環建・公共施設(◎)・都市マス 天神町2-3-12 ☎090-2538-0263	 橋本 久雄 (65) ◎ 緑の党こだいら 環建・公共施設・都市マス 学園西町1-22-15サントピア並木1F ☎042-348-1127	 日向 美砂子 (54) ◎ 生活者ネットワーク 環建・広聴広報(◎)・公共施設 (事)学園西町2-15-2 CB-橋学園 ☎(事)042-342-4494
 平野 ひろみ (57) ◎ 生活者ネットワーク 厚生(○)・都市マス・議運 (事)学園西町2-15-2 CB-橋学園 ☎(事)042-342-4494	 細谷 正 (37) ◎ 日本共産党小平市議団 総務・広聴広報・議運 小川西町5-37-6 ☎042-345-0818	 松岡 篤 (31) ◎ 政和会 厚生・広聴広報・公共施設 学園西町1-16-10-204 ☎042-343-7520	 宮寺 賢一 (72) ◎ 政和会 議長 小川町1-265 ☎042-341-7964	 山岸 真知子 (57) ◎ 市議会公明党 環建・都市マス・議運 たかの台19-7 ☎042-309-5355	 幸田 昌之 (48) ◎ 市議会公明党 生文・広聴広報・公共施設 学園西町1-37-4 ☎042-347-7480	 吉本 ゆうすけ (33) ◎ フォーラム小平 生文・にぎわい・都市マス 小川西町5-30-9-205 ☎042-315-9337

常任委員会

◎=委員長
 ○=副委員長

市の事務に関する調査及び議案・請願等の審査を行います。小平市議会では条例により四つの常任委員会を設置しています。各委員会の定数及び所管は次のとおりです。

■総務委員会 (7人)

市の基本計画、広報、財政、財産管理、個人情報保護、情報公開、契約、職員給与、戸籍・住民記録、市税、公金の出納、広聴、市民相談などに関する事項

- ◎小野 高一 ○津本 裕子 浅倉 成樹
 石毛航太郎 川里 春治 竹井ようこ
 細谷 正

■厚生委員会 (7人)

子育て支援、保育、生活支援、高齢者支援、介護保険、障害者支援、健康施策、国民健康保険などに関する事項

- ◎虻川 浩 ○平野ひろみ 磯山 亮
 吉瀬恵美子 佐藤 徹 中江 みわ
 松岡 篤

■生活文教委員会 (7人)

防災、防犯、男女共同参画、地域センター、産業振興、文化施策、スポーツ振興、学校教育、生涯学習、公民館、図書館などに関する事項

- ◎小林 洋子 ○佐藤 充 伊藤 央
 さとう悦子 佐野 郁夫 幸田 昌之
 吉本ゆうすけ

■環境建設委員会 (7人※欠員1人)

環境対策、ごみ・リサイクル、公園・用水、下水道、都市計画、公共交通、土地区画整理、道路、交通対策などに関する事項

- ◎木村まゆみ ○滝口 幸一 永田 政弘
 橋本 久雄 日向美砂子 山岸真知子

特別委員会

◎=委員長
 ○=副委員長

常任委員会とは別に、特定事件を調査及び審査するための委員会です。各委員会の定数及び所管は次のとおりです。

■広聴広報特別委員会 (8人)

①議会報告会の企画及び聴取した意見等の整理に関する事②議会報の編集及び発行方法に関する事③議会ホームページの充実に関する事④広聴及び広報活動の基本的事項の調査に関する事

- ◎日向美砂子 ○虻川 浩
 磯山 亮 小林 洋子
 竹井ようこ 細谷 正
 松岡 篤 幸田 昌之

■にぎわいまちづくり調査特別委員会 (10人)

①農工商業振興の基本的事項の調査に関する事②観光まちづくりの基本的事項の調査に関する事③公共交通の充実の基本的事項の調査に関する事

- ◎川里 春治 ○石毛航太郎
 虻川 浩 小野 高一
 吉瀬恵美子 さとう悦子
 佐藤 徹 佐藤 充
 竹井ようこ 吉本ゆうすけ

■公共施設マネジメント調査特別委員会 (10人)

公共施設マネジメントの基本的事項の調査に関する事

- ◎永田 政弘 ○滝口 幸一
 伊藤 央 木村まゆみ
 津本 裕子 中江 みわ
 橋本 久雄 日向美砂子
 松岡 篤 幸田 昌之

■小平市都市計画マスタープラン全体構想特別委員会 (13人)

小平市都市計画マスタープラン全体構想の改定に関する事

- ◎佐野 郁夫 ○佐藤 充
 石毛航太郎 川里 春治
 吉瀬恵美子 佐藤 徹
 津本 裕子 中江 みわ
 永田 政弘 橋本 久雄
 平野ひろみ 山岸真知子
 吉本ゆうすけ

議会運営委員会

◎=委員長
 ○=副委員長

議会運営に関する事項についての調査及び議案・請願等の審査を行います。

- ◎浅倉 成樹 ○磯山 亮 小林 洋子
 佐野 郁夫 平野ひろみ 細谷 正
 山岸真知子

市政を問う

一般質問

一般質問とは

議員が議案以外に市の行政全般にわたり、市長や教育長などに説明や報告を求め、また所信をただすことです。適正な行政運営を行う上で、その役割は重要です。ここでは、26人の議員からの質問のうち、1人3件までその要旨を掲載しました。

(政和)=政和会

(公明)=市議会公明党

(フォ)=フォーラム小平

(共産)=日本共産党小平市議団

(生ネ)=生活者ネットワーク

(緑)=緑の党こだいら

行政一般

公職選挙法改正による駅、商業施設への共通投票所の設置等は

市長 12項目あり、進捗状況は、約東3番病児保育の実施については、計画に基づき4年間で病児・病後児保育施設を1施設増設し、既存の病後児保育施設1施設で保育を開始した。約東8番スクールソーシャルワーカーの中学校全校配置については、配置校を段階的に拡充し、26年度には中学校全校に配置した。

②市内大学構内への期日前投票所設置を検討できないか。
選挙管理委員会事務局長 ①専用のシステムが開発されていないなどのさまざまな課題があるため、引き続き、都や他市の状況を注視しながら研究していく。

②市内大学における学生の市民の割合が少ないため、設置の費用対効果が見込めないことなどから現時点では考えていない。

一橋大学如水スポーツプラザなど民間施設等の有効活用を

橋本久雄議員(緑) ①市内の大学や企業、都や国が所有する体育館等を避難所として活用するための働きかけをしているか。

②一橋大学如水スポーツプラザの地域開放を提案できないか。

市長 ①市の指定避難所が収容能力を超える場合、一時的な避難所として利用できないか、市内の大学に働きかけをしている。

②現在、利用者を学生、教職員及び宿舎入居者に限定した施設であるため、地域への開放は考えていないと聞いている。

政策インデックス2013、60の約束プラスαについて

吉本ゆうすけ議員(フォ) 政策インデックスの基本政策1の子どものびのび育つまちについて、各約束の進捗状況は。

市長 12項目あり、進捗状況は、約東3番病児保育の実施については、計画に基づき4年間で病児・病後児保育施設を1施設増設し、既存の病後児保育施設1施設で保育を開始した。約東8番スクールソーシャルワーカーの中学校全校配置については、配置校を段階的に拡充し、26年度には中学校全校に配置した。

文化学園大学小平キャンパス内の未使用施設への市の姿勢は

松岡 篤議員(政和) ①現在の文化学園大学小平キャンパスの市民の使用状況は。

②今後、市民にとつてどのような位置づけになるのか。

市長 ①花小金井武道館を利用して37の定期利用団体のうち、35団体が体育館やホールなどを利用させてもらっている。

②今後の利用は、基本的に大学の意向によって決まっていますが、現在の環境を維持する方向で検討をお願いしている。

こだいらコミュニティFM局を市で開設ができないか

永田政弘議員(政和) ①FM西東京に対する市の考えは。

②地域での孤立化防止を初め、イベントや防災等の情報発信のため、コミュニティFM局を立ち上げることができないか。

市長 ①市が発信する情報を番組で告知してもらっており、有効な媒体の1つと認識している。

②市として立ち上げることは考えていないが、市内で開局される場合の事業者との連携のあり方などについて研究していく。

公共施設

公民連携の公共施設マネジメントを

伊藤 央議員(政和) ①市の公共施設マネジメントにおいて、PPP(公民連携)の概念を取り入れて行ったものはあるか。

②市庁舎1階にコンビニエンスストアを誘致すれば、財源確保と市民、職員の利便性向上に効果があると考えますが、見解は。

市長 ①市民総合体育館等の指定管理者制度がある。

②1階部分は窓口業務の多い事務室等のレイアウトとなり、現状では敷地も含めて誘致するスペースを確保することは難しいものと考えている。

地域センターのテレビの設置状況と利用ルールの徹底について

虹川 浩議員(公明) ①HDMI端子付きのテレビを全館に積極的に増設すべきだがどうか。

②施設の利用マナーとルールを徹底するため、チェックリストを改善すべきだがどうか。

市長 ①今後、備品の更新時期等を捉え、HDMI端子対応の機器を検討していく。

②今後、施設予約時に利用上の注意を再認識してもらおうよう、注意を窓口に掲示するとともに利用終了時の報告書のチェック項目を見直していく。

学校給食センター更新の今後について問う

磯山 亮議員(政和) ①施設の老朽化が進み更新の検討がされているが、建てかえ用地の選定はどうなっているのか。

②更新に向けた課題をどのように捉えているのか。

教育長 ①これまで工業地域、準工業地域を対象に複数の土地所有者と交渉したが、現時点で用地の確保には至っていない。

②既に目標耐用年数が経過していることから、早急な施設の更新に向けて、用地選定が最も重要な課題と考えている。

川里春治議員(政和) ①認知症の人に対する自治会の役割をどのように考えているか。

②学園西町地区の地域連絡会の取り組みを、今後、ほかの地域にどのように進めていくのか。

市長 ①日頃の活動を通して、気づきや見守りなどを行う地域の担い手の1つと考えている。

②学園西町地区の取り組みを自治会懇談会で紹介し、引き続き職員が積極的に地域に飛び出し、地域の人の顔の見える関係づくりなどを進めていく。

産業暮らし

観光まちづくり推進に向けた市の取り組みを問う

佐藤 徹議員(公明) ①(仮称)小平観光まちづくり連絡会の設立時期は。

②民間事業者の宿泊施設が少な

ない現状を鑑み、空き家を含めた民泊事業の推進への見解は。

市長 ①本年6月28日に、こだいら観光まちづくり協会の名称で設立予定である。

②今後、多摩地域にも来訪者の増加が予想されることから、空き家を含めた民泊は、近隣自治体と情報共有を図っていく。

自治会のあり方と今後について

川里春治議員(政和) ①認知症の人に対する自治会の役割をどのように考えているか。

②学園西町地区の地域連絡会の取り組みを、今後、ほかの地域にどのように進めていくのか。

市長 ①日頃の活動を通して、気づきや見守りなどを行う地域の担い手の1つと考えている。

②学園西町地区の取り組みを自治会懇談会で紹介し、引き続き職員が積極的に地域に飛び出し、地域の人の顔の見える関係づくりなどを進めていく。

都市農業振興基本法と基本計画に基づく市の農業施策について

川里春治議員(政和) ①基本計画の決定を受け、都市農地の保全をどう進めようと考えているか。

②周辺住民と共生できる農業経営構築への市の取り組みは。

市長 ①担い手と土地の確保が重要と考えており、農業基盤整備等により後継者の育成を図るとともに、農地の保有や相続にかかる負担等の課題に対して、今後の国の動向を注視していく。

②農地の持つ交流創出や防災等の多面的機能の発揮と、農地の保全を図るため、地域と歩む農業推進事業等を実施していく。

なかまちテラスをもっと観光資源として生かしていく

竹井ようこ議員(フォ) 開館から1年がたち、見学者が多く訪れていると聞いている。今後、なかまちテラスをどのように観光資源として活用していくのか。

市長 設立予定のこだいら観光まちづくり協会が設定する市の特色がわかるモデルコースに、なかまちテラスを取り入れることを検討するほか、作成予定の観光マップなどさまざまな機会や媒体を活用しながらPRし、観光資源として活用していく。

なかまちテラス(小平市立仲町公民館・仲町図書館)

商店街のシャッターをあげ活気をつくらう

松岡 篤議員(政和) ①市内の商店街の空き店舗の状況は。

②商店街のシャッターをあげる具体的なアクションプランはあるか。

市長 ①昨年度に実施した商店街実態調査で、商店会の平均空き店舗は4.6店となっている。

②市内店舗改修等補助事業や小平商工会のチャレンジショップ事業で空き店舗対策を進めている。さらに、商店会が空き店

環境下水道

舗を活用し、にぎわいを創出する事業を実施する場合、事業費の一部を支援する制度もある。

不必要な化学物質を減らすために石けんの利用を進めよう

さとう悦子議員(生ネ) ①市が進める化学物質対策で、合成洗剤ではなく石けんの利用を進めることに対して、市の見解は。

②市立の保育園では、給食の調理用具や食器の洗浄にどんな洗浄剤を使用しているか。

市長 ①石けんの利用は、環境リスクの低減を図る上で重要な取り組みであると考えている。

②作業を短時間で行う必要があることから、石けんと合成洗剤を併用しているが、環境に配慮した製品を選定している。

いづゆるごみ屋敷対策条例の制定を

石毛航太郎議員(フォ) ①ごみ屋敷に対する市の対応は。

②個人の敷地内の物は勝手に処分ができず、対応に苦慮する自治体があることを鑑み、条例制定を前向きに検討できないか。

市長 ①周辺の生活環境に悪影響を与えていると判断したものは、定期的な訪問により居住者に改善を求めるとともに、庁内での情報共有を図っている。

②先進市の運用状況に関する情報を収集するなど、条例に関する研究を行っていく。

※伊藤央議員は平成28年6月21日に政和会を退会し、同日ムサシを結成しました。

防災・防犯

市の防災対策をさらに進めるために

幸田昌之議員(公明) ①熊本

地震から新たな課題が見えてきたと思うが、災害協定は十分か

②市庁舎の全壊、半壊を想定した業務継続計画の認識は

市長 ①東日本大震災を教訓に必要に応じて災害協定を締結してきたが、熊本地震を契機にさらに必要な協定を研究していく

②現在、全壊や半壊等の状況に応じた対応は計画には反映していない。こういった状況を想定した計画のあり方については、今後の検討課題と捉えている

市の防災、防火への対応について

川里春治議員(政和) ①消防

車が入れない道路等への対策は

②消火栓の位置がわかりづら

いと聞いたが、その対策は

市長 ①小平消防署からは、地形や道路状況から消防活動に困難が想定される箇所を事前に把握し対応していると聞いている

②消火栓標識を設置するなど位置が明確になるよう対策している。小平消防署や小平消防団では、点検及び調査を定期的

に実施し状況の把握に努めている

経験が必ず力になる被災地への職員派遣を積極的に

伊藤 央議員(政和) ①これまで市が行ってきた熊本地震被災地支援の内容は

②今後、今までより積極的に職員を派遣するつもりはあるか

市長 ①支援物資の搬送や募金活動のほか、東京都市長会の要請により2人の職員を派遣した

②今後も東京都市長会等の要請を踏まえ必要な対応を行っていく。また、災害協定を締結した自治体が被災した場合は、協定書に基づき救援等に必要

な職員派遣を積極的に実施していく

市内保育施設の防災対策・体制の再確認をすべきである

滝口幸一議員(フオ) ①保育

施設の防災訓練の状況は

②震災時に児童の両親の迎えが困難な場合の対応は

市長 ①認可保育園と認証保育所では、都の条例等に基づき毎月1回以上の訓練を実施する中で、年間計画に沿った避難訓練等を行っている

と認識している

②建物の安全確認の上、保護者の迎えがあるまで保育を継続することを想定している

安全確認ができない場合は、近隣の避難所への避難を想定している

防災倉庫の管理とベットの同行避難について

吉本ゆうすけ議員(フオ) ①小

川西グラウンドの防災倉庫の入り口付近に簡易組み立て式生活用間仕切りが山積みになってい

るが、緊急時に対応できるのか

②ベットと同行避難をした場合の受け入れ方はどうなるのか

市長 ①毛布等の搬出時に支障があると考え、本年度、旧鈴木保育園を災害用備蓄倉庫に改修し、間仕切りの移動により緊急時の円滑な対応を進めていく

市民の防災意識を上げるための市の施策は

松岡 篤議員(政和) ①防災

意識が低くなっている要因は

②日々の生活の中で防災意識を上げる具体的な施策はあるか

市長 ①東日本大震災後に高まっている防災意識が時間の経過とともに希薄化してきたことが

主な要因と考えている

②災害時に備えた安全対策等を防災マップなどに掲載するとともに市報等で周知している

また、防災ブック「東京防災」を活用し、研修会等の機会を捉え防災意識の向上に努めていく

男女共同参画や子どもの視点を踏まえた災害対策を

平野ひろみ議員(生ネ) 28年

3月に要配慮者のための防災行動マニュアルを作成したが、妊産婦と子どもへの配慮等は

市長 妊産婦には、避難所までの安全な避難や避難所での十分な栄養の摂取、間仕切りなどによる休息や授乳等ができる環境の整備等が挙げられる

子どもには、身の安全確保のため近所同士で声をかけ合って避難する等の啓発を行っていくほか、避難所でのアレルギーへの対応等により体調管理に配慮していく

震災が起きた際の市の対応について

小林洋子議員(フオ) ①車で

避難する人を想定しているのか

②瓦れき仮置き場の設置を考えておくべきだが、検討状況は

市長 ①地域防災計画では想定していない。車での移動は災害応急等に支障を来すおそれがあるため、極力行わないよう研修会等の機会を捉え周知していく

②現状では仮置き場の候補地はほとんどない状況だが、今後作成予定の瓦れき処理マニュアルの中で、適正な設置について検討していく

震災に学び、安心・安全のためにみずから備えることは何か

津本裕子議員(公明) ①避難

所の不足で自主避難した人たちへの支援態勢をどう構築するか

②市民の防災意識の向上に向けて、中小規模マンションや自治会未加入地域への発信を強化すべきだが、市の対策は

市長 ①被害状況に応じ施設を一時的な避難所として利用できる旨の協定締結について、市内の大学に働きかけを行っている

②現在も自主防災組織の結成に向けた支援等を実施しており、引き続き啓発に努めていく

過去の震災にはない被害に對する備えを万全に

細谷 正議員(共産) ①災害

弱者に対しては一層の援助が必要だが、市の対応策は

②防災備蓄品の避難所までの確実な運搬について、課題は

市長 ①避難行動要支援者登録

名簿を作成し関係機関等へ提供している。また、名簿に登録された人に、避難行動要支援者情報カードを保管する救急医療情報キットを配布している

②特定緊急輸送道路における沿道建築物の耐震化が未実施の建物が残っていることである

医療健康

改正自殺対策基本法施行後の市の取り組みは

石毛航太郎議員(フオ) ①法律が改正され、自殺対策の計画策定が市町村にも義務づけられたが、改正前に市で行っていた自殺対策としての取り組みは

②施行後、市で具体的に取り組みを検討していることは

市長 ①職員対象のゲートキーパー養成講座や教職員対象の講演会等を実施している

②現在実施している自殺対策の継続、拡充を図るとともに、国や都の動向を踏まえて、市の計画策定を検討していく

B型肝炎ワクチン定期接種対象外の乳幼児には任意助成実施を

虹川 浩議員(公明) ①10月

からゼロ歳児を対象に定期接種が開始されるが、定期接種費用はどうなる予定か

②定期接種対象外の1歳以上の乳幼児にも、希望者には任意助成を実施すべきだが、どうか

市長 ①予防接種法のA類疾病に分類されることが予定されて

公園用水

大切な緑を守るために

用水路の活用を再考すべき

津本裕子議員(公明) ①用水

路活用計画で保全に指定された東部地域の用水路のうち、水が流れていない用水路を今後どのように活用すべきと考えるか

②文化的側面と観光資源としての利活用のバランスを取りながら、緑の確保策としての用水路を見直す必要だが市の見解は

市長 ①引き続き保全に努めていくとともに、流水の確保に向けた取り組みを研究していく

②引き続き、地域の意見を聞きながら、その地域特性に合った整備や保全に努めていく

玉川上水周辺のより良い環境づくりのために

山岸真知子議員(公明) ①都

が鷹の橋から栄光橋までの間に設置したフットライトの点灯時間を、西武国分寺線の最終電車に合わせるべきだが、見解は

②玉川上水通りをコミュニティイタクシーが走行するために、一方通行化の検討など積極的な取り組みをすべきだが、見解は

市長 ①防犯面等からも重要であることから都に要望していく

②不便となる場合もあるので、

いるため、無償での接種となる

②実施に当たっては、財源の確保などの課題があるので、近隣市の動向等を注視していく

都市整備

市内駅前周辺の再開発事業等によるまちづくりについて

小野高一議員(政和) ①小平

駅北口地区市街地再開発事業の予定は

②青梅街道駅前から新小平駅周辺の区域について、用途地区及び風致地区の制限を緩和し、まちの活性化を図れないか

市長 ①順調に進めば、34年度頃の工事完了と見込んでいる

②用途地区は、現在も一定規模の店舗等は建築できるため、緩和は考えていない

風致地区は、現況調査の結果をもとに、今後見直しを検討していく

今年度における小川駅西口地区再開発と周辺環境などについて

細谷 正議員(共産) ①再開

発事業の推進として予算計上された東西自由通路の検討内容は

②小平都市計画道路3・4・10号線こぶし通りについて、現

状での交通安全対策の検討は

市長 ①駅の東西を気軽に往来できるルートにより、東西の交流がより促進するよう現在の通路の活用も含めて検討していく

②警視庁に対して信号機を設置を要望したほか、点滅灯や誘導線を設置するなど地元の要望を受け、適宜対策を講じている

小川駅西口再開発と周辺のまちづくりについて

佐野郁夫議員(政和) ①小川

駅西口再開発事業の課題は何か

②都市計画道路3・4・10号線の府中街道までの整備は、今後どのような予定で進めるのか

市長 ①事業成立が見込める事業計画案の作成が現在の課題である。今後も再開発準備組合にできる限りの支援をしていく

②現在、道路幅員の考え方等の課題整理を行っている。今後、必要となる都市計画変更について、関係機関との調整を進め、事業化に向けて取り組んでいく

優先整備路線に選定された3・4・19号線整備の早期実現を

永田政弘議員(政和) ①事業

認可を受けるための課題は

②準備が整えば10年以内でも着工できるのか

市長 ①市施行区間の南側は市街地再開発事業により施行する区間と、北側は東久留米市が施行する都市計画道路と接続することから、事業の整合を図るために各施行者と連携しながら事業化を目指すことが課題である

②第四次事業化計画の計画期間が本年度から平成37年度までであることから、期間内の事業化を目指し、努力していく

玉川上水緑道に設置されたフットライト

救急医療情報キット

教育・文化

特別支援教育を受ける子どもたちのために

幸田昌之議員(公明) ①就学相談の新たな取り組みは。

②現行の特別支援学級通学バスを通級学級に通う中学生にも採用すべきと考えるが見解は。

教育長 ①より適切に児童・生徒の状態を見きわめるために、就学支援委員会の構成員の充実を図るなどの検討を行っていく。

②小学校3年生までを対象としており、中学生は小学生に比べて体力や生活力が向上し、一人で登下校することは社会性を育むためにも重要と捉えている。

病気に負けず生きていく子どもたちのために院内学級の開設を

吉瀬恵美子議員(共産) ①院内学級についての認識は。

②公立昭和病院に院内学級を開設してはどうか。

教育長 ①児童・生徒が入院した場合に学習の場が途切れることなく確保され、退院後の学校生活に戻る上でも有用と考える。

②受け入れ側の病院の体制が整っていることが前提だが、公立昭和病院からは現在のところ計画はないと聞いており、現時点で設置は困難と考えている。

小・中学生の子育て理解学習のため、赤ちゃん登校日の導入を

中江みわ議員(フォ) 子育て中の親と赤ちゃんに、小・中学生が触れ合える赤ちゃん登校日の導入について、市の見解は。教育長 赤ちゃん登校日ではな

いが、中学校全校で乳幼児との触れ合い体験を実施している。

また、小学校では道徳の時間に赤ちゃんと接する機会を設定した学校がある。乳幼児と触れ合う機会は大変重要と認識しており、現在の取り組みをさらに進めていく。

通常学級に在籍する児童・生徒への介助員の配置拡大を

橋本久雄議員(緑) ①配置日数を限定することは、障害者差別解消法の精神に反しないか。

②介助員の配置を5日間に拡大できないか。

教育長 ①児童・生徒の教育活動の充実を図る趣旨で配置しており、日数の限定は教育を受ける機会を妨げず、法の趣旨に反するものではないと捉えている。

②現状では保護者の協力のもと週3日が適当と判断している。今後の社会情勢等を踏まえながら、適切な対応に努めていく。

子どものスポーツ環境をより充実した内容にしていきたいために

吉本ゆうすけ議員(フォ) ①各学校のスポーツに関する体験授業等の情報は市内のほかの学校と情報共有を行っているか。

②講師やボランティアの派遣依頼について定めている基準は。

教育長 ①教務主任会や副校長連絡会、研究・研修主任等連絡協議会で情報共有している。

②統一した基準はないが、児童・生徒のスポーツへの興味等を深め、体力向上に効果的と認められる人を選定し招いている。

学生、若者の学び希望に応え、給付型奨学金を検討せよ

細谷 正議員(共産) 高い学費と奨学金という名の借金が新たな貧困を生み出すという事態の是正が急務だが、学生、若者の学び希望に応えるため、市独自の給付型奨学金制度を実現するための検討を始めてはどうか。

市長 若者の将来が生まれ育った環境に左右されることのないよう、環境整備が図られることは重要と捉えている。国においては制度創設に向け検討を進めることが閣議決定されたので、今後の動向等を注視していく。

小・中学校での熱中症対応について

滝口幸一議員(フォ) ①過去5年間に熱中症により病院受診または搬送された例はあるか。

②授業中及び部活動中の熱中症対策についての認識は。

教育長 ①病院受診は小学校では社会科見学中に1件、中学校では保健体育科の授業中に1件、部活動中に4件で合計6件、そのうち救急搬送は5件である。

②毎年、教員を対象とした学校安全研修会で熱中症事故の防止に向けた内容を取り入れるなど、周知の徹底を図っている。

選挙権の18歳引き下げをきっかけにシチズンシップ教育推進を

さとう悦子議員(生ネ) ①選挙権の年齢引き下げに向けて行った模擬投票の成果と課題は。

②生涯学習の中で、シチズンシップ教育を見据えた若者向けの講座等はあるか。

選挙管理委員会事務局長 ①一定の啓発効果があり、将来の投票行動につながるかと考えている。課題は、職員の体制等により、全校で行えないことなどである。教育長 ②仲間づくりや地域への愛着等の醸成を目的にヤングセミナーを毎年度実施している。シチズンシップ教育とは民主主義を理解・実践するために必要な知識や価値観を身に付け、主体的に判断し、行動する市民となるための教育のこと。

定の啓発効果があり、将来の投票行動につながるかと考えている。課題は、職員の体制等により、全校で行えないことなどである。

教育長 ②仲間づくりや地域への愛着等の醸成を目的にヤングセミナーを毎年度実施している。

シチズンシップ教育とは民主主義を理解・実践するために必要な知識や価値観を身に付け、主体的に判断し、行動する市民となるための教育のこと。

中学校の制服やジャージをリサイクルできるシステムづくりを

小林洋子議員(フォ) ①制服やジャージ、体操服等のリサイクルを進める取り組みはあるか。

②リサイクル等を進めるべく、ジャージ等から氏名の刺しゅうをなくすことへの市の考えは。

教育長 ①PTAが主体となつて、体育祭等の行事の際に、制服等のリサイクルを進めている。また、一部の中学校では転入生に対して制服等を提供している。

②紛失を防ぐ管理上の理由等から、現在のところ刺しゅうをなくすことは慎重に捉えている。

教育におけるICT活用の現状と2020年代へ向けた考え方を問う

永田政弘議員(政和) ①小・中学校の普通教室でもタブレット端末を使用できるよう、一教室分の台数の確保ができないか。

②小学校段階におけるプログラミング教育導入への考え方は。

教育長 ①今後、市立学校で使用するノートパソコン等のリース期間満了時に、タブレット端末への変更を検討していく。



▶青年教室(ヤングセミナー)の様子

中学校における部活動の適正化について

小林洋子議員(フォ) ①部活動における活動日もしくは休みのあり方を指導しているか。

②教員が顧問をする、しないは選択できるのか。

教育長 ①生徒のバランスのとれた学校生活等への配慮が重要と捉えている。保護者の問い合わせ等には個別に状況を確認し、必要な指導、助言を行っている。

②教員から校長へ顧問に対する希望を伝えることはできる。各教員の適性等を考慮して最終的に校長が決定している。

教育長 ①昨年度は市立小学校6校が多摩六都科学館の学習プログラムに参加し、理科の授業を科学学習室で行っている。

市長 ②中学生、高校生が多摩六都科学館へ訪れ、科学への興味等を持ってもらう取り組みを、機会を捉えながら要望していく。

小平南西部地域(B地区)に早期に公共交通を導入すべきだ

佐藤 徹議員(公明) ①B地区のコミュニティタクシーを考

える会が発足したが、実証実験運行に向けたスケジュールは。

②西武国分寺線の東西2ルートでの実証実験運行を視野に入

れて検討すべきだが見解は。市長 ①発足後は、地域のニーズを集約しながら実証実験運行に向け、運行ルート等について合意形成を図っていく。

②運行ルートや運行システム等については考える会で検討を行うことになっている。市では、検討結果を踏まえ対応していく。

野中東通りと青梅街道交差点付近の安全策を進めるべき

津本裕子議員(公明) ①本交

差点で、自転車と左折の車との衝突が危惧されるが、対策は。

②野中東通りと青梅街道の丁字交差点

により交差点全体の制御はできるとの評価を得ている。信号機の設置以外の対策としては3・3号線に自転車ナビマークなどの設置を行う予定である。

道路交通

交通危険箇所解消等と交通の利便性について

小野高一議員(政和) ①西武

国分寺線及び西武多摩湖線と道路が交差する複数の地点の踏切

について、危険を解消するための対策は。

②西武線とJR線等との相互

乗り入れについて、市の考えは。市長 ①路面表示や注意喚起の看板を設置するなど、安全性の向上に努めている。今後も、都

警視庁及び鉄道事業者に対して、必要な要望を行っていく。

②路線整備に多大な費用を要

するため現状での実現は難しい。

南西部地域の交差点の交通対策をさらに進めるべき

佐藤 徹議員(公明) 都市計

画道路3・3・3号線の開通時

における都市計画道路3・4・

23号線との交差点及び美大通り

の丁字路には信号機の設置を含

めた交通対策が必要だが見解は。

市長 交通管理者と協議の結果、

信号機の設置については、3・

3・3号線側の一時停止制御等

により交差点全体の制御はでき

るとの評価を得ている。信号機

の設置以外の対策としては3・

3・3号線に自転車ナビマーク

などの設置を行う予定である。

小平南西部地域(B地区)に早期に公共交通を導入すべきだ

佐藤 徹議員(公明) ①B地

区のコミュニティタクシーを考

える会が発足したが、実証実験

運行に向けたスケジュールは。

②西武国分寺線の東西2ルー

トでの実証実験運行を視野に入

れて検討すべきだが見解は。

市長 ①発足後は、地域のニ

ーズを集約しながら実証実験運

行に向け、運行ルート等について

合意形成を図っていく。

②運行ルートや運行システム

等については考える会で検討を

行うことになっている。市では、

検討結果を踏まえ対応していく。

野中東通りと青梅街道交差点

付近の安全策を進めるべき

津本裕子議員(公明) ①本交

子ども・女性

解消されない待機児童と子育て支援をどうするのか

幸田昌之議員(公明) ①待機児童対策として認定家庭福祉員

は具体的にどう進めるのか。②子ども・子育て支援事業計画は全ての子育て家庭への支援を目標としているが、今後の計画実施における見解は。

市長 ①新制度における家庭の保育事業への移行には自園調理での給食提供等の課題があり、解消に向けて調整を進めていく。②事業にかかる量の見込みや確保方策の推進状況を踏まえながら、計画を着実に進めていく。

日向美砂子議員(生ネ) ①子育て中の女性の就労促進事業等における在宅ワークについて、保育との関係性をどう考えるか。②介護も視野に入れて、在宅ワークを応援できないか。

市長 ①保育の要素を加えることは、今後、事業の詳細を決めていく過程の中で検討していく。②基本的には子育て中の女性を対象としているが、介護等而就労が困難な人は現時点では想定していない。将来的には実現の可能性もあると考えている。

保育園の現状と待機児童ゼロに向けたこれからの取り組みは

竹井ようこ議員(フオ) ①待機児童となつてしまった家庭へのフォロー体制は。②これからの待機児童ゼロに

に向けた計画は。

市長 ①4月入園に関する申し込みの非内定者には、認証保育所等の空き情報を連絡するなど情報提供を行い、保育の利用につなげられるよう努めている。②来年度末までに、既に協議を開始している7か所の認可保育園の確実な開設や小規模保育事業等の整備を推進していく。

中央図書館での託児サービスの実施と一時預かり事業の拡充を

中江みわ議員(フオ) ①利用者枠拡充や土曜日の実施等、一時預かり事業を拡充すべきと考えるが、市の見解は。②中央図書館で託児サービスを実施すべきだが市の見解は。

市長 ①昨年度、目標とした9か所の保育園で実施を達成しており、今後は各地域のニーズを捉えながら拡充を検討していく。教育長 ②大人のための読み聞かせ会等、託児つきの事業の継続した実施を検討している。今後も子育て支援の視点を踏まえた事業の充実を図っていく。

移動式赤ちゃんの車で乳幼児連れの家族が外出できる環境を

中江みわ議員(フオ) ①市民まつりなど屋外イベントでのおむつかえスペースなどの確保は、どのように対処しているのか。②移動可能なテントなどを備えた移動式赤ちゃんの駅を設けてはどうかと考えるが、見解は。

市長 ①市民まつりについては会場内にはないが、学園東町地域センターや学園東小学校等を

休憩所として案内している。②購入費用や貸し出しの頻度等について、他市の状況等を参考にしながら研究していく。※赤ちゃんの駅とは

乳幼児を連れた保護者のために、外出先でおむつかえや授乳ができるスペースを設けた公共施設や民間施設のこと。

少子化対策、待機児童解消策はさまざま視点から行うべき

伊藤 央議員(政和) ①保育所増設だけではなく、親が子育てに専念している家庭への支援策として行っている取り組みは。②現金給付やクーポン給付などの施策を行うつもりはないか。

市長 ①子ども広場事業等、子育て中の親子の交流や育児相談を実施するほか、育児疲れ解消や一時的な保育のために、一時預かり事業等を実施している。②現在行っている取り組みを進めていくため、考えていない。

義務教育就学児医療費助成制度の所得制限を撤廃すべき

磯山 亮議員(政和) ①所得制限撤廃により子育て世代が受けるメリットについての見解は。

▲義務教育就学児医療費助成制度(マル子)の医療証

子医療証	申請者番号	受給者番号	氏名	生年月日	年齢	性別	住所	氏名	有効期間	交付年月日

②所得制限を撤廃すべきと考えるが、見解は。

市長 ①子育て世代の経済的負担が緩和されると認識している。②基礎自治体が個別に実施するよりも国の制度として実施することが望ましいと考え、市長会を通じ国や都へ要望している。今後も国や都の動向等を見きわめながら慎重に検討していく。

保育の質を後退させることなく、待機児童の解消を

木村まゆみ議員(共産) ①待機児童の解消について、今後の取り組みはどうか。②今後、開設予定の私立認可保育園の保育の質の確保は。

市長 ①29年度末までの解消を目指し、7か所の認可保育園の開設や小規模保育事業、定期利用保育等の整備を推進していく。②第三者評価等を通じて、保育の質の確保に努めながら、保育士の処遇改善等、安定した保育環境を確保することで保育の質の維持向上につなげていく。

認可保育園増設に伴う財政負担の現状と今後について

佐野郁夫議員(政和) 認可保育園増設に伴う財政への影響をどのように認識し、どのような展望を持って解決を図るのか。

市長 待機児童対策は計画的に必要な整備を行っているが、認可保育所の新たな開設に伴い、財政負担は大変大きいものと認識している。今後は、既存の幼稚園との連携を考えた小規模保育事業等の開設など、引き続き、さまざまな工夫を用いて待機児童の解消を目指すとともに、歳入面の見直しも検討していく。

子どもがふえる小平から新しいモデルを

平野ひろみ議員(生ネ) ①家庭的な保育を提供する小規模保育事業への市の考えは。②子ども・若者計画の策定に向けての進め方は。

市長 ①ゼロ、1、2歳児の待機児童解消に寄与するものとして、運営実績のある事業者による、モデルとなるべき施設の設置を検討していく。②28年度に実態調査を実施するほか、計画策定の基本方針を定め、計画素案段階での市民意見の公募等を行っていく。

貧困と格差の連鎖を断ち切り、子どもの貧困を解消するために

佐藤 充議員(共産) ①市内の子どもの貧困率は。②修学旅行や入学準備にかかる費用の就学援助は事前の支給に改善する必要があるが見解は。

市長 ①市独自の貧困率の算出は困難であることから、現時点では持ち合わせていない。教育長 ②修学旅行費は実施後に費用を清算し、個人別の金額を確定させる必要がある。入学準備費用は受給資格審査等が入学後になるため、事前の支給は行っていない。今後、他市の状況を把握するなど研究していく。

②おおよそ号の使用対象者の制限の撤廃ができないか。

市長 ①計画策定の実態調査で、外出状況の質問項目を設けるなど、障害者や障害者団体等の意見を聞いている。引き続き障害者からの意見聴取に努めながら必要な対応をしていく。②おおよそ号の運用は都の事業を活用して実施しており、制限の撤廃は難しいと考える。

障害者差別解消法施行に当たり市、事業者、市民がすべきこと

日向美砂子議員(生ネ) 障害があってもなくてもともに暮らし誰もが生きやすい地域をつくるために、障害への理解を深めることや障害のある人との交流が大切だが、市ができることは。

市長 障がい福祉計画を体系的に推進しており、共生社会の実現を目指す個別の施策として、誰もが参加できる行事の開催等を通じて相互理解と交流を促進している。また、法で規定する地域住民等に対する啓発活動を行うことで理解を促進していく。

介護予防施策の充実について

山岸真知子議員(公明) ①地域包括ケアシステムの構築を図る上で、現状の課題は。②浦安市で先進的に取り組んでいる、市民と協働で介護予防を進めることについて、見解は。

市長 ①多種多様なサービスの提供を担う人材の育成と、身近な集いの場等の地域づくりなどが課題と考えている。②市民への啓発や地域づくり

障害のある方も安心して選挙に臨めるようにしよう

竹井ようこ議員(フオ) ①選挙公報の点字訳はどのように行われているのか。②投票所で困っている人が手助けを求められるような対策をしてほしいと考えるがどうか。

選挙管理委員会事務局長 ①国や都の選挙は計12の公共施設で点字訳を配布している。市の選挙は音声版選挙のお知らせを希望者等に対して配付している。②今後は選挙人の方からも気軽に声をかけてもらえるよう、投票所の入り口付近に文書を掲示するなどして対応していく。

お金の心配なく市民が必要な医療や介護を受けられるように

木村まゆみ議員(共産) ①短期証の発行による利用の制限の前に、保険料の支払いが困難な高齢者への生活サポートが先と考えるが、市の見解は。②高齢者宅を訪問して面談での調査が必要と考えるがどうか。

市長 ①納付の相談の際に、介護保険料等の減免制度の案内や、分割納付等の相談を行っている。②納付が滞っている人には、職員が訪問して催告や相談を行っているが、留守等で接触が限られるため面談は困難と考える。

(仮称)小平市高齢者住まいの計画の策定を

木村まゆみ議員(共産) ①高齢者の住まいについての計画を策定すべきと考えるがどうか。②生活保護受給はしていないが、基準以下の収入の人の認知症高齢者グループホームへの入

居は、どのように保障するのか。市長 ①現在のところ、高齢者の住まいに特化した計画の策定は予定していない。②具体的な入居支援策は講じていないが、個々の状況に応じて最善のサービスへつながるよう相談体制の充実を図っている。

点字ブロックの整備など視覚障がい者に優しいまちづくりを

佐野郁夫議員(政和) ①点字ブロックを設置する際に、地域の視覚障害者の意見を聞いたり、立ち会いをしているのか。②小川駅西口駅前道路に点字ブロックを設置できないか。

市長 ①設置に関する要望があった際には市の担当者が現地を確認した上で、必要に応じて要望者と現地立ち会いや話し合いをさせてもらっている。②段差のある歩道を設置する幅員がないことから、現状での設置は困難と考えている。



小川駅西口駅前の道路

掲載分以外の質問項目

【公園・用水】
○緑化推進委員会提言の市政への反映について

一般質問

※伊藤央議員は平成28年6月21日に政和会を退会し、同日ムサシを結成しました。

会派の構成

会派は、政策を中心とした理念を共有する議員で構成されています。小平市議会では、議会基本条例第4条で議会活動を行うため、会派を結成することができると定められています。2人以上の議員をもって会派を構成することができます。○=幹事長

政和会(7人)

- 小野 高一 磯山 亮 川里 春治
- 佐野 郁夫 永田 政弘 松岡 篤
- 宮寺 賢一

フォーラム小平(6人)

- 石毛航太郎 小林 洋子 滝口 幸一
- 竹井ようこ 中江 みわ 吉本ゆうすけ

生活者ネットワーク(3人)

- 日向美砂子 さとう悦子 平野ひろみ

《無会派》

ムサシ(1人)

- 伊藤 央

市議会公明党(6人)

- 津本 裕子 浅倉 成樹 虻川 浩
- 佐藤 徹 山岸真知子 幸田 昌之

日本共産党小平市議団(4人)

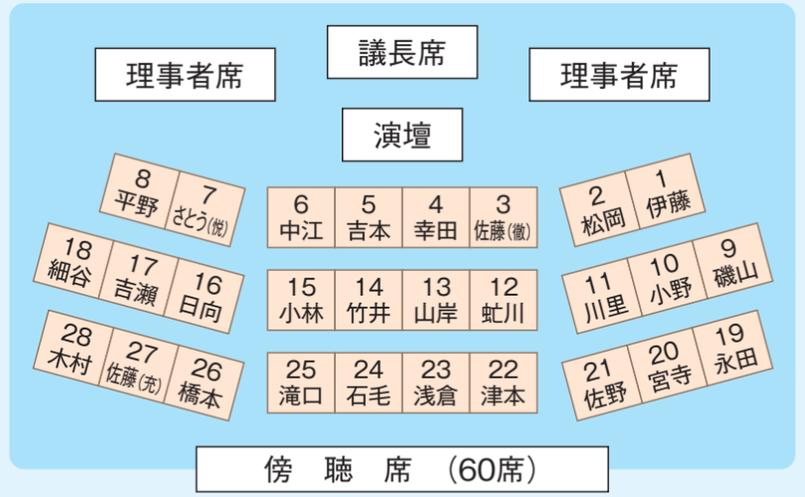
- 佐藤 充 吉瀬恵美子 木村まゆみ
- 細谷 正

《無会派》

緑の党こだいら(1人)

- 橋本 久雄

議場議席図



議会日誌

1月20日~7月19日
本会議、委員会、諸会議など

1月

- 21日 にぎわいまちづくり調査特別委員会(市内視察あり)
- 22日 公共施設マネジメント調査特別委員会
- 27日 三多摩上下水及び道路建設促進協議会第3委員会
- 28日 小平市都市計画マスタープラン全体構想特別委員会

2月

- 1日 総務委員会 三多摩上下水及び道路建設促進協議会第2委員会
- 2日 生活文教委員会 三多摩上下水及び道路建設促進協議会第1委員会
- 3日 厚生委員会
- 4日 環境建設委員会
- 5日 全員協議会 市議会議員研修会 正副委員長協議会
- 9日 山形県東根市議会議員視察来庁(議会の広報・広聴機能について)
- 10日 湖南衛生組合議会
- 12日 東京都議会議員研修会
- 15日 幹事長会議 愛知県蟹江町議会議員視察来庁(空き家対策について)
- 16日 東京都十一市競輪事業組合議会 東京都四市競艇事業組合議会
- 17日 小平・村山・大和衛生組合議会 東京たまご域資源循環組合議会 多摩六都科学館組合議会
- 18日 議会運営委員会
- 19日 多摩北部都市広域行政圏協議会審議会 昭和病院企業団議会
- 23日 3月定例会初日
- 24日 3月定例会2日目(一般質問)
- 25日 3月定例会3日目(一般質問)
- 26日 3月定例会4日目(一般質問)
- 29日 3月定例会5日目(代表質問)

3月

- 1日 一般会計予算特別委員会
- 2日 一般会計予算特別委員会
- 3日 一般会計予算特別委員会
- 4日 特別会計予算特別委員会
- 7日 総務委員会
- 8日 生活文教委員会
- 9日 厚生委員会
- 10日 環境建設委員会
- 11日 広聴広報特別委員会
- 16日 幹事長会議

- 17日 議会運営委員会
- 23日 3月定例会最終日 広聴広報特別委員会
- 30日 東京都十一市競輪事業組合議会臨時会 東京都四市競艇事業組合議会臨時会

4月

- 12日 広聴広報特別委員会
- 14日 小平市都市計画マスタープラン全体構想特別委員会
- 15日 小平・村山・大和衛生組合議会臨時会

5月

- 10日 品川区議会議員視察来庁(本会議における一問一答方式について)
- 11日 東村山市議会議員視察来庁(食物資源循環モデル事業について)
- 13日 市民と議会の意見交換会
- 14日 市民と議会の意見交換会
- 17日 総務委員会
- 18日 生活文教委員会(神奈川県老名市視察あり)
- 19日 東京都十一市競輪事業組合議会臨時会 東京都四市競艇事業組合議会臨時会
- 20日 厚生委員会(足立区視察あり)
- 24日 環境建設委員会(立川市視察あり)
- 24日 昭和病院企業団議会臨時会
- 26日 東京都三多摩地区消防運営協議会
- 27日 三多摩上下水及び道路建設促進協議会総会
- 30日 幹事長会議

6月

- 2日 議会運営委員会
- 7日 6月定例会初日
- 8日 6月定例会2日目(一般質問)
- 9日 6月定例会3日目(一般質問)
- 10日 6月定例会4日目(一般質問)
- 14日 総務委員会
- 15日 生活文教委員会
- 16日 厚生委員会
- 17日 環境建設委員会
- 20日 広聴広報特別委員会
- 21日 にぎわいまちづくり調査特別委員会
- 22日 公共施設マネジメント調査特別委員会
- 24日 幹事長会議
- 27日 議会運営委員会
- 30日 6月定例会最終日 幹事長会議(臨時) 議会運営委員会(臨時) 広聴広報特別委員会

7月

- 15日 野火止用水保全対策協議会
- 19日 広聴広報特別委員会

市民と議会の意見交換会を開催しました

市議会では「若い力を活かすまちに!あなたの声を聴かせてください」をテーマに、今年初めての意見交換会を市内2会場で開催しました。今回は、子ども、若者、子育てに関する事業の報告をした後、市民の皆さんとグループに分かれて意見交換を行いました。

それぞれの会場で多くのご意見をいただきました。ありがとうございました。

- 5月13日(金)東部市民センター 集会室 19時から 参加者19人
- 5月14日(土)中央公民館 講座室2 13時30分から 参加者15人

○いただいたご意見(一部)

- ・学びの楽しさを体験できるような取り組みや子ども主体のイベントなど、子ども全員に向けての施策を。
- ・子どもの貧困は大きな問題である。貧困ゆえに若い力を活かせないようなことがあってはならない。
- ・学校における教諭の多忙感の解消を望む。
- ・市税収入がアップするようなアイデアを市民から募集しては。
- ・グループ討議の中でさまざま話せたことが楽しかった。

意見交換の内容やいただいたご意見、アンケート結果の詳細については、市議会ホームページ(<http://www.city.kodaira.tokyo.jp/gikai/>)のほか、市役所7階議会事務局でもご覧いただけます。

今後も市民の皆さんとの意見交換の機会を定期的に設けていきます。多くの方のご参加をお待ちしております。



▲東部市民センターの意見交換会の様子



▲中央公民館の意見交換会の様子

会派の異動

伊藤央議員が6月21日付で政和会を退会し、ムサシを結成しました。

- 6月24日 花小金井小55人
- 6月28日 三小106人
- 7月12日 一小81人

議場見学

《小学3年生》

- 5月20日 十五小68人
- 5月24日 八小67人
- 5月27日 二小95人
- 6月3日 鈴木小41人
- 6月14日 十二小57人
- 6月16日 七小124人
- 6月17日 十一小118人
- 6月21日 学園東小53人
- 6月23日 六小92人

議員の寄附行為は禁止されています

政治家が、選挙区内の人や団体に挨拶状(答礼のための自筆によるものは除く)を出したり、お金や物を贈ることは法律で禁止されています。受け取った人も罰せられます。

また、有権者が政治家に対して寄附を求めることも禁止されています。

- 具体例は次のとおりです。
- お中元やお歳暮
- お祭りへの寄附や差し入れ
- 秘書や家族などが代理で出席する場合の結婚祝いや香典
- 町内会の集会や旅行等の催し物への寸志や印刷物の差し入れ
- 病氣見舞い

市民の皆様への御理解と御協力をお願いします。

あしがき

6月定例会では、平成28年度一般会計補正予算(第1号)など、さまざまな議案について、活発な議論が交わされました。今後も市議会の活動について積極的にお知らせすることも、よりわかりやすく親しみやすい紙面づくりに広聴広報特別委員一同努めてまいります。

お気づきの点がございましたら議会事務局にお寄せください。〒187-1870 小平市小川町二丁目1番地 1333番地

TEL 042-344-9566 FAX 042-344-9567